

鹿沼土木事務所管内図


KANUMA CIVIL ENGINEERING OFFICE INFORMATION GUIDE

2023年度 主要事業

1 主要地方道 宇都宮鹿沼線 飯岡東

- 鹿沼市 千渡～白桑田
- 全体計画/延長:810m
幅員:25m
事業費:約17億円

本路線は、鹿沼市中心部と宇都宮市中心部を結び、鹿沼市の東西軸を形成する重要な道路です。しかし、朝夕の通勤・通学時には交通量が多いにもかかわらず、現道は狭く慢性的な交通渋滞を引き起こしている状態です。そのため、4車線化の整備をすることにより交通渋滞の解消を図ると共に、機能的な道路ネットワークを形成し、県央地域の連携を強化します。




鹿沼市
方向の
渋滞

宇都宮市
方向の
渋滞

2 一般県道板荷玉田線 辺釣工区

- 鹿沼市 辺釣
- 全体計画/延長:900m
幅員:10.0m
事業費:約27億円

本箇所は東武日光線と急峻な山に挟まれ、幅員狭小で大型車のすれ違いが困難であり、さらには土砂災害警戒区域(土石流、急傾斜)に指定されている地区です。危険区間を迂回するトンネルを整備することにより安全な通行を確保し、利便性や防災機能の向上を図ります。



3 一級河川 小敷川 楡木町

- 鹿沼市 楡木町
- 全体計画/延長:2,900m
事業費:約29億円

平成25年7月豪雨、平成27年関東・東北豪雨により浸水被害が発生したことから、早期・集中的に河川断面を広げる河川整備を進め、安全で安心できる川づくりを実施しています。R4年度より護岸の拡幅、橋梁架替等の工事に着手しました。



H25.7月
豪雨時の
小敷川

橋梁付近の
工事状況

4 一般国道293号 楡木バイパスII期工区

- 鹿沼市 下奈良部町～磯町
- 全体計画/延長:3,000m
幅員:22.0m
事業費:約50億円

本路線は、茨城県日立市を起点とし、栃木県足利市を終点とする栃木県を横断する東西交通の基幹をなす幹線道路であるとともに、緊急輸送道路にも指定されています。令和2年度に完成した楡木バイパスI期工区から鹿沼南バイパス間を整備することにより、地域間連携・交通の強化や鹿沼市街地内における渋滞の解消による交通の円滑化等を図ります。



5 一般県道 鹿沼環状線 千渡北

- 鹿沼市 千渡
- 全体計画/延長:2,100m
幅員:25m
事業費:約13億円

(うち優先整備区間 延長:1,200m、事業費:約13億円)


本路線は、鹿沼市における外郭環状を形成する重要な道路です。しかし本工区は、交通量が多いにもかかわらず、現道が狭く歩道が整備されていないため、児童や生徒の通学に支障を来しています。そこで平成26年度から優先整備区間として、北から1,200m区間の西側歩道の整備事業に着手し、児童や生徒の安全・安心を確保します。



6 一級河川 思川 深程工区

- 鹿沼市 亀和田町～久野
- 全体計画/延長:6,000m
事業費:約40億円

一級河川思川は、その源を足尾山地の地蔵岳に発し、栃木県の中央部を南東に流下し、渡良瀬遊水地に入流する一級河川です。当該区間は、令和元年東日本台風等に伴う記録的な豪雨出水により甚大な被害が発生したことから、築堤及び河道掘削等を実施し、早期に地域の安全性の向上を図ります。



被災状況
(松原堰上流)

7 一般国道121号 天神町

- 鹿沼市 天神町
- 全体計画/延長:360m
幅員:15m
事業費:約15億円

本箇所は、鹿沼市街地中心部に位置し、交通量が多いにもかかわらず、右折レーンが整備されていないため、慢性的に渋滞を引き起こしています。そのため交差点を改良し、さらに電線類を地中化するにより、交通渋滞を解消し、中心市街地として魅力ある道路空間の創出を図ります。



8 一級河川 武子川 深津

- 鹿沼市 深津-千渡
- 全体計画/延長:4,300m
事業費:約46億円

一級河川武子川は、日光市猪倉地先を源とし、鹿沼市街地東部を流れ、宇都宮市鷺の谷町地先で一級河川澁川に合流する河川です。川幅が狭いことから、度々、台風や集中豪雨による家屋や農地等の浸水被害が発生しています。平成27年度から武子川の川幅を広げる整備を重点的に進め、安全で安心できる川づくりを実施しています。



9 一般国道293号 仁神堂

- 鹿沼市 仁神堂
- 全体計画/延長:750m
幅員:16m
事業費:約20億円

本工区は周辺学校の通学路で、歩行者・自転車が多いにもかかわらず、通行空間が不十分のため、児童や生徒が危険にさらされています。また、一級河川武子川に仁神堂橋付近においては、平成27年関東東北豪雨及び令和元年東日本台風の際に、氾濫したこともあり、早期改善が求められています。そのため、歩行者・自転車の通行空間を拡大し、児童や生徒の安全・安心を確保するとともに、計画流量を確保した橋梁架替を実施し、災害の再発を防止します。



氾濫した
仁神堂橋
前後

狭く危険な
歩道

10 宮入A【急傾斜地崩壊対策事業】

- 鹿沼市深程
- 全体計画/延長:240m
事業費:約2.5億円


本箇所は、鹿沼市南部に位置するがけ平均28m、斜面の平均角度37度の急傾斜地です。指定避難場所である深程中央公民館のほか人家11戸が含まれることから、崩壊対策を行うことが急務となっていました。そこで令和元年度より交付金事業を導入し、R4年度までに約半分の崩壊対策を実施しました。



11 砂防事業 思川

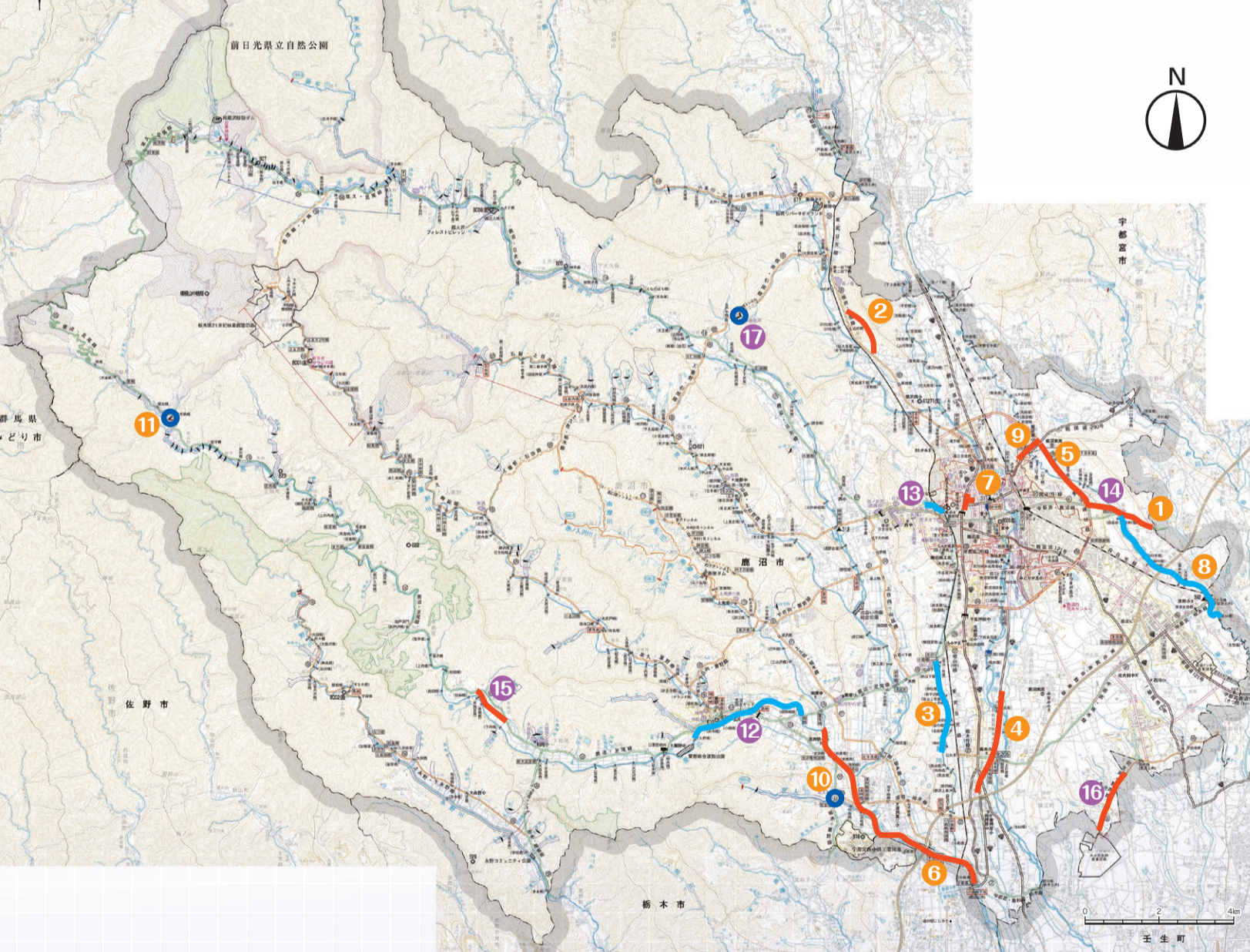
- 鹿沼市 上粕尾
- 全体計画/床固工:3基
砂防堰堤工:6基
帯工:2基
事業費:約16億円

本箇所は、平成23年度の台風15号に伴う豪雨出水により、沿道の鹿沼足尾線が被災し、孤立集落が発生するなどの甚大な被害をうけました。そこで、土砂災害から下流域における集落等を保全するため、平成25年度より砂防事業を実施しています。現在は、床固工2基が完成しています。



被災状況


床固工完成



12 一級河川 思川【災害復旧助成事業】

- 鹿沼市 口栗野-久野
- 全体計画/延長:3,200m
事業費:約23億円
- 事業期間:令和元年度-令和4年度
- 事業内容:築堤・護岸、河道掘削等

令和元年東日本台風(台風第19号)に伴う記録的な豪雨出水により、本事業区間において4箇所(堤防決壊等)が発生し、浸水面積約183ha、浸水家屋416戸の甚大な被害が発生しました。これらの被災をうけ、早期復旧による「安全・安心」の確保、再度災害防止を図るため、「災害復旧助成事業」を導入し、令和元年度から河道掘削、河床掘削等の改良復旧を実施し、令和4年度に事業が完了しました。




堤防決壊状況(柳橋上流)

護岸施工状況(柳橋上流)

13 一級河川 小敷川 西鹿沼町

- 鹿沼市 三幸町-日吉町
- 全体計画/延長:1.1km
事業費:約43億円

一級河川小敷川は、本工区内においては市街化区域内を流れており、河槽が狭小で、台風等の出水時には複数の家屋で浸水被害を繰り返してきました。そこで、平成23年度から河川改修を進め、令和4年度に工事が完了し、治水能力が向上しました。




H27.9月
豪雨時の
小敷川

鉄道交差部の
改修後の状況

14 都市計画道路3-4-202号 古峯原宮通り 千渡東(主要地方道 宇都宮鹿沼線)

- 鹿沼市 千渡
- 全体計画/延長:1,085m
幅員:25m
事業費:約39億円


本路線は、鹿沼市と宇都宮市の中心部を直結し、地域間の物流や通勤・通学の日常生活を支えるとともに、第三次緊急輸送道路として指定され、災害時の避難経路、応急活動のための重要な役割を担っているにも関わらず、現道は狭く慢性的な渋滞を引き起こしている状態でした。そこで、平成25年度からバイパス事業を進め、令和4年度に暫定2車線での供用を開始しました。令和5年度に完成4車線での供用を予定しています。



15 主要地方道 鹿沼足尾線 布施谷バイパス

- 鹿沼市 布施谷
- 全体計画/延長:1,700m
幅員:10.25m
事業費:約7.2億円


本路線は、鹿沼市街と日光市足尾を結ぶ唯一の幹線道路です。しかし、本路線が通過する鹿沼市布施谷地内では、現道の幅員が狭い上に道路線形が屈曲しており、交通事故が多発してまいりました。また、歩道が未整備であり、歩行者にとっても危険な状況でした。そこで、平成27年度からバイパス道路の整備を開始し、令和4年度に供用を開始しました。



16 一般県道 羽生田鶴岡線 池ノ森

- 鹿沼市 池ノ森
- 全体計画/延長:1,400m
幅員:10.5m
事業費:約7億円

本路線は、「産業未来基地とちぎ中央」へのアクセス道路であることから大型車交通が多く、今後も増加が見込まれています。しかしながら池ノ森小学校の近傍路線であるにもかかわらず、沿線は歩道がなく、通学児童や周辺住民が危険な状態にありました。そこで、平成26年度から歩道整備を進め、令和5年4月に工事が完了し、歩行者の安全を確保しました。




着手前

完成

17 小岩花沢【通常砂防事業】

- 鹿沼市 引田
- 全体計画/砂防堰堤工:2基
事業費:約3億7千万円

平成27年9月関東・東北豪雨に伴う記録的な豪雨により、小岩花沢では土石流が発生し下流の県道(板荷引田線)まで土砂が流出しました。道路の寸断や人家への被害を抑制するため、平成29年度から計画策定に着手し、令和4年度までに砂防堰堤2基が完成しました。



2022年度 主な成果

12 一級河川 思川【災害復旧助成事業】

- 鹿沼市 口栗野-久野
- 全体計画/延長:3,200m
事業費:約23億円
- 事業期間:令和元年度-令和4年度
- 事業内容:築堤・護岸、河道掘削等

令和元年東日本台風(台風第19号)に伴う記録的な豪雨出水により、本事業区間において4箇所(堤防決壊等)が発生し、浸水面積約183ha、浸水家屋416戸の甚大な被害が発生しました。これらの被災をうけ、早期復旧による「安全・安心」の確保、再度災害防止を図るため、「災害復旧助成事業」を導入し、令和元年度から河道掘削、河床掘削等の改良復旧を実施し、令和4年度に事業が完了しました。



堤防決壊状況(柳橋上流)

護岸施工状況(柳橋上流)